



上映会



ドキュメンタリー映画

「ザ・思いやり」

監督 リラン バクレー



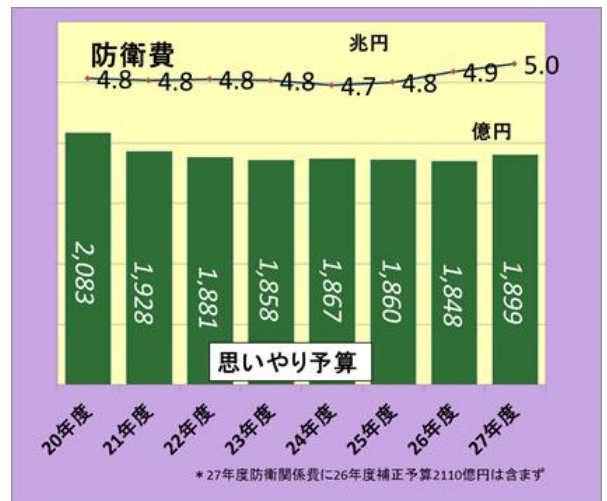
日本経済が失速するなか、安倍政権の下でどんどん歯止めのなくなる防衛費。千葉県内でも、木更津への日米両国のオスプレイ配備が決定し、そのための新たな軍用艦の莫大な金額での購入も日本政府によって検討されているといいます。

この映画ではアメリカとの条約においては一切義務付けられてない「思いやり予算」の不条理さと矛盾を、一人の在日アメリカ人英語講師が監督となり、様々な視点から鋭く、そしてユーモアたっぷりに日本人に問いかけていきます。

<思いやり予算>の中身とは...

1978年から始まり、税金から6兆円以上(米兵一人当たり年間1500万円)が投入。果たしてその内容とは...? 家族のための住宅、小・中学校、教会、銀行やゴルフ場やマクドナルド、電気、水道、ガス料金、有料道路料金、果てはなんと米兵による凶悪・暴行事件の賠償金まで。

巨額の財政赤字を抱え、震災復興もままならぬ中、日本人のために使われるべき税金の中から、思いやり予算は当然のごとく出され続けられています。



★日時 4月9日(土)

午後2時開演(上映時間88分)

★会場 市民ネットワーク千葉県4階会議室

★参加費 500円

★主催: 市民ネットワーク千葉県

監督・編集: リラン・バクレー 日本/カラー/88分/2015年 <http://zaomoiyari.com/> 撮影: 高尾 徹 ダレン・チルトン 美術製作: 岡田久幸 村永泰 字幕協力: 堀 純司 出演: 松元ヒロ(コメディアン) 山口洋子(思いやり予算を被災地の支援へ!) 吳東正彦(弁護士) 前泊博盛(沖縄国際大学教授) ほか

「ザ・思いやり」事務局 平沢清一 佐藤 契 (Eメール: zaomoiyari@hotmail.co.jp)